

# 未来に生きる力を身に付けた子どもの育成～ キャリア教育に視点をあてた取組を通して～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
藤岡市立 北中学校	ぼらりす 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 2名 1名 地域コーディネーター 2名 0名	コミュニティ・ハウス
藤岡市立 藤岡第二小学校	ぼらりす 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 0名 0名	コミュニティ・ハウス
藤岡市立 神流小学校	ぼらりす 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 0名 0名 地域コーディネーター 0名 0名	コミュニティ・ハウス



## 取組の背景及び目標や目指す姿

### 背景

中学校区に一つの学校運営協議会(ぼらりす)を設置し、地域・学校・保護者が協働しながら地域学校協働活動(とらいアングル)を展開している。「未来に生きる力を育む」を地域の目標として、キャリア教育に重点を置いた活動を進めている。この目標を小中9年間で達成するために、ぼらりすが「キャリアアッププラン」(行動目標)を作成し、子ども達がこれからの社会を生き抜く力を身に付けられるよう、地域総掛かりでコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に取り組んでいる。

### 目標や目指す姿(学校)

自分の役割を自覚し、自ら課題や解決策を見つけ行動する児童生徒

### 目標や目指す姿(地域)

社会の一員としての役割を積極的に果たそうとする児童生徒



## ぼらりす

## の特徴

### 委員の立場や属性等

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 民生児童委員  | <input type="checkbox"/> 各校長           |
| <input type="checkbox"/> 自治会関係者  | <input type="checkbox"/> 地域ボランティア団体関係者 |
| <input type="checkbox"/> 地域企業関係者 | <input type="checkbox"/>               |
| <input type="checkbox"/> 学識経験者   | など、計 <b>12</b> 名で構成                    |
| <input type="checkbox"/> もとPTA会長 | 年間平均 <b>7</b> 回程度開催                    |

### 効果的な運営の工夫

教育プランは何度も熟議を重ねて決定した経緯があるため、大筋は変わらない。学校や地域等で活動する際には、必ずこの教育プランに基づいて実施するため、地域・学校・保護者・子どもが同じ目標に向かって、ブレることなく活動できている。活動のリーフレットや活動報告は、全戸配布や回覧板等で地域への周知を図っている。  
学校敷地内に地域学校協働活動の拠点となる部屋(コミュニティ・ハウス)を設置し、推進員(2名)とコーディネーター(2名)が活動しやすい環境を整えた。学校と地域の思いやニーズをつなぐため、地域人材の発掘や事業のコーディネートなど、年々活動の幅を広げている。



## 特徴的な取組と成果・効果

### 学校運営協議会

「ぼらりす」では、一貫校の目指す子ども像の実現のために、協議会委員がそれぞれの立場で、児童生徒・保護者・地域の声を細かく聞き取りながら熟議を重ねている。その成果として「キャリアアッププラン」ができた。このプランの具体的な行動目標や効果的な周知方法など検討を重ねている。



熟議「キャリアアッププラン」

### 地域学校協働活動

中学1年生を対象に実施した「社会人に聞く会」は、働くことの意義や職業観について学ぶ機会となっている。2年前より学校運営協議会との共催となり、講師選定や依頼も容易になった。この他にも小学校「職場調べ」や中学校「職場体験」など、多くの大人がそれぞれの立場でキャリア教育に関わっている。



社会人に話を聞く会

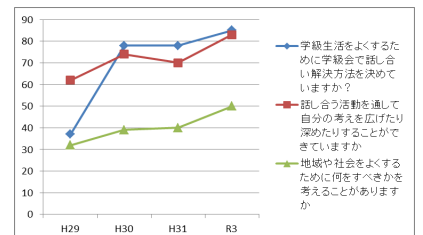
### 「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

保護者・地域住民・教職員等のビジョンを共有を図るため、「とらいアングルの集い」(ボランティア集会)を毎年実施している。昨年度は、全体会でキャリアアッププランの周知を図り、「プランに基づく教育活動にどのような関わりができるか」という視点で熟議を行った。立場の異なる人で班を編制し協議するなど、推進員が参加者の意識を高められるように企画している。

## 取組

## 成果・効果

- ①全国学力学習状況調査の質問紙テストでは「学級生活向上のための話し合い活動でよりよい解決方法を決めているか」「地域や社会をより良くするために何をすべきか考えることがあるか」等の項目で向上が見られた。学校や学級、地域の一員として課題に気付き、主体的に考え行動する生徒が増えた(右グラフ)。
- ②キャリアアッププランにかかる地域一体となった活動により、児童生徒が多くの大人や職業に触れる機会が増え、職業に対する知識だけでなく、社会人としての姿勢や、考え方を身につけられるようになった。活動の感想には「可能性は無限大なので、挑戦をしていきたい」など、将来に向けて意欲的なコメントが増えた。



全国学調(中3)質問紙検査より